

かがやき

令和3年
1月1日発行
76号
2021.1月

人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり

福祉ポスター 市役所ロビー展示会



◀ 福祉ポスターWEB展覧会

コロナ禍の取り組みのひとつとして今年は、ウェブ上で367点の作品を見られるようにしました。ご覧ください。



社会福祉法人

甲斐市社会福祉協議会

<https://www.kaishakyo.or.jp>



本所

〒400-0123

山梨県甲斐市島上条3163 敷島保健福祉センター内
TEL 055 (277) 1122 FAX 055 (277) 1284

竜王支所

〒400-0117

山梨県甲斐市西八幡3018-1 竜王保健福祉センター内
TEL 055 (279) 1112 FAX 055 (279) 1114

新年おめでと〜ございます

● 甲斐市社会福祉協議会 会長 進藤 一徳



コロナ禍が続く中で越年、新型コロナウイルスの収束が見通せないまま令和三年を迎えることになってしまいました。

私たちの日常は停滞感と閉塞感に包まれて久しくなります。

甲斐市社協でも『社会福祉のつとめ』や『高齢者運動会』をはじめ、数多くの事業や活動が取り止めや変更を余儀なくされました。一方コロナ対策としては、生活福祉資金の特例貸付関係の業務や夏休み・冬休みの子どもたちへの食料支援などに社協をあげて取り組んできました。これらの対策には、赤い羽根共同募金からの助成はもとより、このような年にもかかわらず大勢の市民の皆様から厚いご支援とご協力をいただきました。改めて心から感謝申し上げます。

一方、コロナ禍とともに少子高齢化、人口減少社会への潮流は滞ることなく続いております。高齢者のみの世帯や一人暮らし、認知症の方や生活困窮者が増加し続けており、福祉サービスを求める方や手助けを必要とする方が増えています。

こうした中で甲斐市社協は『人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり』の実現を目指して本年も職員一同力を合わせて様々な事業を着実に推進して参ります。

また本年は、社協の第二次地域福祉活動計画が最終年次となります。このため市と連携協調すると共に市民の皆様のご意見やご要望を伺いながら、令和四年度からスタートする新たな計画の策定を進めていきたいと考えております。

本年も引き続き温かいご理解とご協力ご支援をお願い申し上げます。暗い夜もいつかは明けます。必ずや新型コロナ終息の日が来ることを信じましょう。

平穏で安心安全、明るく元気の出る日が一日も早く訪れることを心から願っております。

結びに皆様のご健勝とご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

お知らせ

甲斐市社協では、竜王支所で実施している介護事業所を今年度で閉所することを一昨年に決定して以来、利用者の皆様を適切に他事業所へ移行することに万全を期してまいりました。その中で、訪問介護事業所は令和2年3月末をもって一年前倒して閉所を完了しております。

残りの通所介護事業所及び居宅介護支援事業所の2事業所につきましても、準備が整いましたので、1か月前倒して令和3年2月末で閉所することになりました。

長い間、ご利用いただきました利用者の方々、またご協力いただいたボランティアや地域の皆様へ感謝申し上げます。

閉所に伴い、令和3年度からは、その他業務(車イス・福祉車両の貸し出し等)も全て敷島の本所で行うこととなります。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、職員一同これからも地域福祉活動に精一杯尽力して参りますのでよろしくお願いいたします。



お問い合わせ

甲斐市社会福祉協議会 本所 ☎055-277-1122

感謝状を贈呈しました。

令和2年8月までの1年間に社会福祉協議会に多額の金品の寄付をいただいた方に進藤会長より感謝状を贈呈しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式の開催が中止となりましたので、今回は直接お届けさせていただきました。



● 古屋 明美様



● 三枝やよい様

住民同士の
地域づくり

甲斐市「地域のささえ合い」

甲斐市社協では、地域の皆様と協力して住民同士がささえ合える体制づくりを推進しています。住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるように、地域のささえ合いについて話し合う場(協議体)を設置しています。

4小学校区の地域で2層協議体立ち上げに取り組んでいます。

令和2年度は、竜王西小学校区、竜王東小学校区、玉幡小学校区、敷島南小学校区の4小学校区の2層地域で、協議体立ち上げに向けて取り組みました。

新型コロナウイルスの感染予防に取り組みながら、参加者が密にならないように対象地域を午前・午後に分けて説明会を実施しました。

その後、興味関心がある方を対象に、ワークショップ(勉強会)を開催して、ささえ合いの取り組みについて学びを深めました。

※協議体：住み慣れた地域で、いつまでも元気に安心して生活するために、どんなささえ合いが必要か?自分たちにできることは何か?などみんなで話し合いをする場所が協議体です。

※2層：甲斐市では、2層を小学校区単位の地域としています。市内には11小学校区があります。

ささえ合う地域づくり説明



竜王西小学校区



竜王東小学校区



玉幡小学校区



敷島南小学校区

地域のささえ合いを考える勉強会



地域の皆が
気兼ねなく集まれる
居場所があったらいいな。

日頃からの声掛けや
つながり作りが大切。
もっと多くの人に知ってもらい
協力してもらわないと。



新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、今年1月～2月にかけて協議体の立上げ会を開催し、今できることをメンバーと話し合い、協力しながら取り組んでいきます。



令和2年度

福祉ポスター 入賞作品

《敬称略》

甲斐市社協では、「人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり」をテーマに福祉に対する理解を深めていただくため福祉ポスターを募集し、甲斐市内の小学生から合計367点の作品が寄せられました。

今年は、コロナ禍の取り組みとして、ウェブ上で応募作品がみられるようになってますので、是非ご覧ください。



平沼 孝啓
(竜王南小)



早川 未来
(竜王西小)



山口 那南
(敷島南小)



坂本 麻緒
(竜王小)



花見 海翔
(玉幡小)



藤原くるみ
(敷島南小)

令和2年度

福祉ポスター 入選者

《五十音順・敬称略》



- 浅川 菜央 (敷島小)
- 伊藤 拓夢 (竜王小)
- 貝畑 希愛 (玉幡小)
- 小宮山史記 (双葉東小)
- 清水 心結 (双葉西小)
- 田 暁睿 (玉幡小)
- 花輪 夏音 (双葉東小)
- 深澤 萼花 (玉幡小)
- 丸山 世蓮 (玉幡小)
- 山本 彩友 (竜王小)

- 天野 心愛 (竜王北小)
- 今村 りお (敷島南小)
- 小林 虹和 (敷島南小)
- 澤田 美優 (竜王西小)
- 田中 広音 (竜王東小)
- 西谷 未羽 (竜王西小)
- 原田 優那 (竜王東小)
- 福永 乙葉 (竜王小)
- 望月 桃果 (敷島南小)
- 湯浅ゆうは (敷島南小)

- 一瀬 瑞葵 (双葉東小)
- 長田 翔磨 (敷島南小)
- 小宮山歩桜 (竜王西小)
- 篠原 一花 (敷島南小)
- 種田 愛子 (敷島南小)
- 花輪 霞 (玉幡小)
- 飛弾 心菜 (双葉東小)
- 伏見 拓 (竜王小)
- 矢澤 心美 (敷島北小)
- 渡邊 理子 (敷島南小)

福祉ポスター選考について

最優秀作品の「支えあい、with 助け合い」の文案の元、山梨県、甲斐市の上子どもからお年寄りまでが寄り添いながら伸びるよう立っている姿には、明るさと朗らかさを感じます。全体的に暖色が使われ、暖かい感じを受ける素晴らしい作品に仕上がっています。

また、優秀作品の5点についても、ポイントを絞って車いすのお年寄りに寄り添う親子、穏やかな女性を中心にハートが満ちあふれた作品、福祉の心を育てようと若芽と水滴を使った発想、みんなの笑顔と幸せの象徴である四つ葉のクローバーを使い支えている手を配置した構図、福祉に関わるユニバーサルデザインを利用した作品など、多様な表現で、訴え伝えようとしている作品が見られました。

コロナ禍で人と人とのつながりが薄れてきている中、甲斐市の小学生一人一人が短い夏休みを利用し、障がいのある人やお年寄りをはじめ、多くの人と支え合い助け合う心を作品づくりを通して深く考える良い機会となったと思います。これからも、この気持ちを伸ばしていき、社会福祉に対し貢献していくことを期待しています。

令和2年度 高齢者教養事業

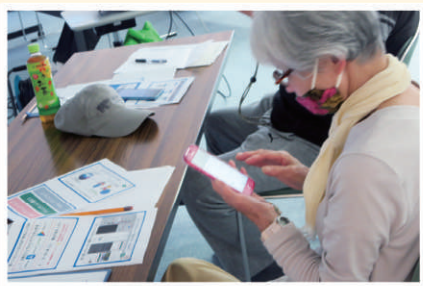
「スマートフォン教室」「ステンドグラス教室」を開催しました

甲斐市社協では、65歳以上の市民の方を対象とした高齢者教養講座として、スマートフォン教室とステンドグラス教室を開催いたしました。

10月13日(火)に開催したスマートフォン教室では、株式会社フォネットに協力していただき、基本的な使い方やビデオ通話、便利なアプリ機能の体験を行いました。参加者からは、「スマートフォンを購入したもののうまく使えなかったが、講座を受けて不安がなくなりました」という意見や、「ガラケーからスマートフォンに変えたばかりなので勉強になりました、今後も楽しくスマートフォンを使っていきたい」との意見がありました。

10月5日、12日、26日に開催したステンドグラス教室では、講師の向山明生さん(ガラス工房アキ)指導のもと、ステンドグラスの歴史やガラスカット・はんだ付けを学びました。全3回の教室で作品を完成させることができ、笑顔あふれる楽しい教室となりました。

甲斐市社協では高齢者の教養講座として新しい趣味づくりや仲間づくりを応援しています。



スマートフォン教室



ステンドグラス教室



令和2年度 健康ウォーキング事業

ノルディックウォーキング体験
高齢者歩け歩け大会(秋)を実施しました

甲斐市社協では、健康ウォーキング事業としてノルディックウォーキング体験と高齢者歩け歩け大会を開催いたしました。

10月23日(金)に開催したノルディックウォーキング体験では、双葉体育館にて総勢30名に参加していただき、昭和総合型地域スポーツクラブCamellia(キャメリア)運動指導員小泉由里さんの指導のもと、専用のポールを使用して歩くウォーキングを楽しみました。

11月20日(金)に開催した高齢者歩け歩け大会(秋)では、釜無川スポーツ公園を出発し、やはた公園や三社神社をめぐる全長約8kmのコースをウォーキングしながら秋の紅葉を楽しみ、交流を図りました。



ノルディックウォーキング体験



高齢者歩け歩け大会(秋)



Go 甲斐 ボランティア

●甲斐市ボランティアセンター
(甲斐市社会福祉協議会)

本所 ☎ 055-277-1122
☎ 055-277-1284

視覚に障がいのある方向け

「声の広報」を再開しました

甲斐市ボランティアセンターでは、視覚に障がいのある方向けに「声の広報」を、登録ボランティアにより録音作成をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月まで作成を中止していました。

10月に新たな録音ボランティア団体「うふふ」が立ち上がったことや、録音方法を改善することで、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底することができたことから、11月より声の広報を再開することができました。

新たに設立した団体での声の広報録音であり、新しい録音方法のため、不慣れな点がありましたが、みんな楽しく声の広報を作成することができました。

作成した「声の広報甲斐」については、申請していただいている方に直接お渡しをしています。興味のある方や声の広報が必要な視覚に障がいのある方は、甲斐市ボランティアセンターまでご連絡ください。



声の広報「うふふ」



声の広報 録音の様子

集まった未使用タオルは、



甲斐市ボランティア協議会が施設に届けました

社協だよりかがやき8月号にて募集した未使用タオルは約1200枚集まりました。

集まった未使用タオルは、甲斐市ボランティア協議会に仕分け・配布を依頼し、11月12日に役員が集まり仕分けをしたのち、市内の12の福祉施設に配布されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉施設でのボランティア活動が難しい状況ではありますが、今後もボランティア協議会と連携し、ニーズに沿ったボランティア活動を推進していきます。



集まった未使用タオル

令和
2年度

障がい児者

ふれあい福祉レクリエーションを実施しました

甲斐市社協では、障がいのある方の交流を目的に年1回バス外出事業を実施しています。

今年度のバス外出は、静岡県内にある富士サファリパークへお出かけしました。

当日(11月29日(日))は晴天にも恵まれ、総勢34名でバス外出を楽しみました。

富士サファリパークでは、バスのままで行けるサファリゾーンをみんなで楽しみ、ライオンやゾウ、キリンなどの動物たちがのびのびと暮らす姿を見ることができました。

新型コロナウイルス対策として、検温やアルコール消毒・バス車内でのソーシャルディスタンスを徹底したバス外出となりましたが、参加者からは楽しかったとの声も聞かれ、笑顔あふれるバス外出となりました。



障がいサロン事業の休止についてのお知らせ

甲斐市社協では、障がい児者と家族を対象に居場所づくりとして障がいサロンを開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、参加される皆様の健康と安全を考慮し、令和3年2月まで障がいサロン事業を一時休止させていただきますことになりました。

参加を希望されていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年度 ひきこもり研修会を開催しました

12月3日(木)に中北保健事務所 地域保健課 芦沢茂喜氏を講師に招き、ひきこもりについての概要を学習しました。参加者からは、ひきこもりについて理解が深めることができたなどの声が聴かれました。研修会を通し、今後のひきこもり支援に役立させていきたいと考えています。



当日の様子

市内福祉事業所合同説明会の開催中止について

毎年2月に開催していた合同説明会は、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を中止させていただきます。市内福祉事業所についてお知りになりたい方は、以下の連絡先へご相談ください。

●障がい者基幹相談支援センター ☎055-267-7010 fax055-277-1284

こども支援事業



冬休み期間中の 児童・生徒の食料支援を実施しました



学校給食の無い期間に市内小中学校及び特別支援学校に通う児童・生徒のいる世帯への食料支援に取り組みました。

支援に必要な食料品は今回も大勢の市民の方や企業等から提供を頂くことができました。皆様から頂いた食料には温かい気持ちで寄せられていることをメッセージとして食品と一緒に届けています。ありがとうございました。



● 食料寄付

(順不同・敬称略)

(個人) 岩田きみ江、西澤孝二、中込幹也、近幸子、中村こはる、下原君代、望月圭子、岡田隆、久保田みどり、長久保忠義、井上聡、何麗敏、伊藤二三子、坂本輝幸、小林國男、高相治夫、田中留江、伊藤清雄

(団体) 喫茶ふれあい館、にじいろのわ

(企業) 生活協同組合ユーコープ(おうちコープ)、㈱ろすまりん、とみや青果店、ゆうのう敷島、アマノパークス、㈱亜久里、(有)小宮山プリント社、アピタ双葉店、双葉きのこ園、生活協同組合パルシステム山梨



農事組合法人ゆうのう敷島



生活協同組合パルシステム山梨

甲斐市の組合さんからフードドライブで寄付していただきました!

住み慣れた地域で、人と人がつながり安心して暮らせる支え合う地域福祉を目指し、関係機関と連携し食料支援を通じた地域づくりを推進しています。

●この事業の一部は「赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」の助成金を利用しています。

寄付をいただきありがとうございます

- ラザワーク甲斐双葉(1円玉募金) 4,096円
- NPO法人国際ブリアー(高齢者のお祝い品) ビーフン、本、台湾のお菓子(400セット)
- 渡邊広美 衣類(未使用品)50着



NPO法人国際ブリアー